

農林漁業のうごき

京都府 No.194 令和5年

京都フードテックエキスポ初開催

会場入口
京都フードテックエキスポ2023

京都食の伝統・文化

京都フードテック基本構想

サステナビリティ
産学公による共創
ニーズファースト
おもてなし
匠・技法
もったいない精神
庶民・公家・武家・僧侶などによる文化形成

盛り付け実演された京料理

京都府立大学 精華キャンパスのブース (ミールワームの紹介)

各国の専門家によるセッションの様子

デジタル版はコチラ

内容

特集 1	表彰・認定者紹介(農林水産業功労者・農山漁村伝承優秀技能・若手農林漁業者) ……	2～3
特集 2	令和5年度補正予算の概要 ……	4～5
特集 3	京都フードテックエキスポを初開催! ……	6
特集 4	京都耕畜連携システム構築事業で飼料用米栽培実証を実施 ……	7
特集 5	「地域計画」策定に向けた取組を支援 ……	7
特集 6	「京の小豆まつり」を初開催! ……	8
トピックス	京都林業のつどいを開催 / 参加者過去最多!!「京都山キッズ交流会」を開催 / 「大原里づくりトライアングル」が「農林水産大臣賞」を受賞 / 中央卸売市場に「食の京都」情報発信拠点が誕生 / 農と里を支える担い手育成事業の取組を紹介 / 内水面漁協が新たな取組を開始 / 夏休み木工教室を開催 / 農業用ため池における遠隔監視システムの導入事例の紹介 / 大雨で山地災害が激化、治山ダムが効果を発揮! ……	9～11
シリーズ	第18回 農林水産技術センターの研究紹介 丹後農業研究所/茶業研究所 ……	12
地域の取組	木津小学校での出前授業/大保池の改修が完了 / 「丹波くり」新たな人材が各地で活躍! / 「第7回森の京都ジビエフェア」開催中 / 森林の適正な維持管理セミナー等を開催 / 果樹の新たな担い手を育成 ……	13～15
シリーズ	第5弾 学び舎へようこそ! 「初の試み! 漁業インターンシップを開催」 ……	16

農林水産業功労者・農山漁村伝承優秀 ～令和5年度京都府農林水

令和5年11月25日(土)、京都市伏見区の京都パルスプラザにおいて、京都府農林水産フェスティバル表彰式典を開催しました。この中で、多年にわたり、府内の農林水産業及び農山漁村の振興と発展に功労のあった方々や、農林水産業の経営改善や農山漁村地域の活性化に意欲的に取り組み、地域の担い手として期待される方々に表彰を行いました。また、同時に、農山漁村地域において伝統的に受け継がれてきた生産技能に優れた方々を農・山の「匠」として認定しました。

＊ 農林水産業功労者表彰 ＊

(敬称略)

経営改善に取り組み、他の模範となり農林水産業の振興・発展に顕著な貢献をした方々

荒木 浩幸／福知山市	植山 守司／綾部市	大崎 幹浩／京丹波町
木野 怜子／南山城村	小林 治／京田辺市	清水 幸雄・裕子／向日市
宗原 秋彦／京丹後市	多羅尾 英樹／宇治市	西田 尚生／京都市
萩本 新吉／城陽市	橋本 弘／伊根町	長谷部 剛／京丹後市
福井 仁司・富子／八幡市	森 敬一／与謝野町	アグリチャンス京丹波株式会社／京丹波町
株式会社ファームきぬがわ／福知山市		

新品種開発・新事業開拓に取り組み、農林水産業の振興・発展に顕著な貢献をした方々

大村 元昭・仁美／木津川市	山口 強子／京丹後市	シバリンジーテック株式会社／宮津市
---------------	------------	-------------------

女性の地位向上のための活動に取り組み、農林水産業の振興・発展に顕著な貢献をした方々

まんぐるわ三重・森本／京丹後市

団体の役員として団体の発展や、農林水産業の振興・発展に顕著な貢献をした方々

明田 寿彦／京都市	石河 良一郎／京丹後市	小川 宜久／京都市
勝山 秀良／南丹市	杉本 文雄／京都市	辻 俊宏／宇治田原町
能勢 義男／京丹後市	堀井 誠二／城陽市	松本 吉弥／京都市
村上 武久／亀岡市	森田 清孝／長岡京市	森田 重俊／城陽市
森本 豊／精華町	山本 喜八郎／久御山町	亀岡牛生産株式会社／亀岡市

農山漁村における地域資源を活用した活動に取り組み、農山漁村の活性化に顕著な貢献をした方々

井尻 稔／南丹市	磯部 和雄／京都市	神崎あぜみちの会／舞鶴市
農事組合法人グリーンファーム鷹栖／綾部市		

技能・若手農林漁業者が表彰・認定されました 産フェスティバル表彰式典～

＊ 農山漁村伝承優秀技能認定 ＊

(敬称略)

農山漁村地域において伝統的に受け継がれてきた生産技能に優れた方々

【農の匠】

上田 正／京丹波町 小南 道子／京都市
竹谷 元也／和束町 村上 敏郎／綾部市
山崎 俊邦／舞鶴市

【山の匠】

白樫 貢／京丹波町

農産課 農業応援伴走支援係 TEL：075-414-4957

＊ 若手農林漁業者表彰 ＊

(敬称略)

農林水産業の経営改善等に取り組み、地域の担い手として期待される方々

浅田 竹士／宇治田原町	泉 慎也／宮津市	長村 貴司／八幡市
垣内 大輝／長岡京市	川崎 継太／久御山町	塩道 岳／福知山市
清水 勇輝／向日市	菅野 巨多加／宇治市	竹田 克寛／京丹後市
田中 良大・和嘉子／京都市	内藤 勇貴・知亜紀／京都市	中津隈 一樹／綾部市
林 嘉人／和束町	樋口 敬祐／京都市	森島 孝太／城陽市
安井 大輔／京丹後市	山内 耕祐／福知山市	山本 哲也／綾部市
米嶋 貴生／京都市		

経営支援・担い手育成課 新規就業・人材育成係 TEL：075-414-4912

受賞者からひとこと

農林水産業功労者表彰 西田 尚生 様

この度は、栄えある賞をいただき誠にありがとうございます。これもひとえに、関係者の皆様のご支援の賜物と感謝しております。

今後とも、安心・安全な鶏卵の生産を行いつつ、しっかりと後代に経営を引き継いでいくとともに、京都府の畜産の発展に取り組んで参りたいと考えております。



受賞者からひとこと

若手農林漁業者表彰 山本 哲也 様

この度は、名誉ある賞を頂きまして誠にありがとうございます。大変光栄に思うと同時に身の引き締まる思いです。何より、時に厳しく、時に温かく御指導頂いた地域や各関係機関の皆様には心より感謝しております。

今後も、誰でも活躍のできる農業を目指し自己研鑽するとともに、担い手として地域への貢献に努めていく所存でございます。





農林水産部 令和5年度補正予算の概要

国際情勢の悪化に伴う生産資材や化学肥料等の価格高騰により、厳しい経営状況にある農林水産業者や食品関連企業等を支援するため、経営力向上に向けた取組への補助、府内産農林水産物・加工品の販売促進に要する経費や、農林水産業の基盤整備に要する経費等として、令和4年度2月補正予算から計3回、13億5,500万円の補正予算を計上しました。

また、8月中旬の令和5年台風第7号により被災した農地、農業用施設、林道等の復旧や流木・危険木の除去等に要する経費として、令和5年度9月補正予算で9億300万円を計上しました。

令和4年度2月補正予算

〈物価高騰対策〉

- 農林水産業経営強化緊急支援事業費……………【3,000万円】
農林水産業者等が中長期的に安定した経営の実現を図るため、生産コストの削減や販売力強化に繋がる取組を緊急的に支援
- 京都耕畜連携システム構築事業費……………【1,500万円】
飼料作物と堆肥を循環させる耕畜連携システムを構築し、持続可能な農業の推進による安定した経営の実現を図るため、府特産物向けの成分調整型ペレット肥料を開発するとともに、飼料作物及び堆肥の広域流通に向け保管・輸送経費を支援

〈基盤整備〉

- 農林水産業基盤整備事業費……………【2億9,500万円】
農林水産業のイノベーションと安心・安全な地域社会を実現するため、生産基盤の整備や、農山漁村地域と森林の防災・減災対策を実施
- 盛土対策総合推進事業費……………【1,000万円】
「宅地造成及び特定盛土等規制法」に基づき、危険な盛土等を全国一律の基準で包括的に規制するため、規制区域の指定に必要な基礎調査等を実施

令和5年度6月補正予算／9月補正予算

〈物価高騰対策〉

- 農林水産業経営改善支援事業費(省エネ機器転換支援事業)……………【9億円】
低コスト化や効率化に寄与する省エネ機器の導入を支援
(事業例)…遠赤外線乾燥機や省エネ型エアコンの導入等
(対象者)…農林水産業者又は農林水産業者が組織する団体等
- 農林水産業経営改善支援事業費(収益力強化支援事業)……………【5,000万円】
生産コストの削減や高付加価値化につながる取組を支援
(事業例)…ハウスの多重被覆やPR用ラベルの作成等
(対象者)…農林水産業者又は農林水産業者が組織する団体等

令和5年度6月補正予算

〈京都の活力向上〉

- 府内産農林水産物加工食品等販売促進事業費……………【1,000万円】
コロナ禍においても新商品開発等に取り組んできた食関連事業者を後押しするため、首都圏における販売促進イベントの開催や商談会への出展を支援

令和5年度9月補正予算

〈京都産業の活性化〉

- 京都フードテック推進事業費 ……【3,200万円】
 フードテックエキスポによる異業種連携の好機を活かすため、フードテックによる新たな価値を付加した新商品・サービス開発等の支援や開発拠点となる南部市場オープンイノベーションラボの活用を促進
- 京ものブランド輸出拡大推進事業費 ……【800万円】
 海外における「京もの」の認知度と商材としての訴求力を向上させ、更なる輸出拡大を図るため、府内産農林水産物・工芸品等の販売促進イベントを開催

〈京都産水産物等の販売促進〉

- 京都産水産物等販売促進事業費 ……【500万円】
 中国の輸入規制により、影響を受ける京都産及び福島産水産物の販売促進を図るため、輸入規制のない国への販路拡大や国内での消費拡大に向けたPR等を実施

〈台風第7号対策〉

農業者等 営農継続 支援事業費	野菜生産確保緊急対策事業	野菜や茶樹の生産回復を目的とした追加施肥・種のまき直し等の経費を支援	550万円
	野菜生産施設災害復旧事業	農産物生産のためのパイプハウス等の復旧を支援	1,400万円
	種子確保緊急対策事業	次年産用種子の確保・供給に要する経費を支援	250万円
	鳥獣侵入防止施設災害復旧事業	野生鳥獣による農作物被害を防止するための柵の復旧を支援	100万円
災害に強い 森づくり 事業費	災害関連緊急治山事業	被災した荒廃山地の復旧等	3億8,000万円
	森林防災機能強化事業	流木や倒木のおそれのある危険木の除去、森林整備等	1億円
農林水産 施設災害 復旧事業費	耕地等災害復旧事業	被災した農地・農業用施設の災害復旧を支援	2億7,000万円
	林道災害復旧事業	被災した林道施設の災害復旧を支援	1億3,000万円

農政課 経理係 TEL : 075-414-4948

京都府農林水産フェスティバルを開催しました！

府内産品への理解と関心を深め、消費拡大につなげることを目的に、令和5年11月25日(土)、26日(日)に、京都パルスプラザにて、第51回目となる京都府農林水産フェスティバルを開催しました。

府内産農林水産物・加工品等の販売・展示コーナーや京都食文化体験等のほか、本年度は、農業×福祉事業所による「ノウフクマルシェ」や「福島産水産物応援販売・PR」も実施しました。

当日は約4万5,000人が来場し、来場者からは、「農福連携の取組や京都の食について知れてよかった」「京都の生産者から直接話を聞いて買えたのが良かった」などの声がありました。



大勢の人で賑わう会場

流通・ブランド戦略課 ブランド戦略係 TEL : 075-414-4941

特集 3

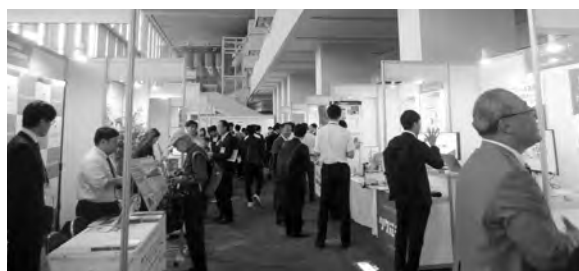
京都フードテックエキスポを初開催！

令和5年10月5日(木)、6日(金)にけいはんなオープンイノベーションセンターにて、京都フードテックエキスポを初めて開催しました。最先端の技術を体感できる企業等による技術展示や、国内外の潮流や取組に関する講演、食関連の新たな製品・サービスの魅力を競うコンテスト、京都の食文化に触れる料理人と菓子職人による伝統的技術の実演など、盛りだくさんの内容となりました。

このイベントをきっかけに、今後もフードテックに対する理解を促進し、オープンイノベーションによる農林水産業を含めた京都の食関連産業の成長産業化を図ってまいります。

国内外の企業等による技術展示

宇治茶、京漬物といった伝統的食文化を支えてきた技術や食品加工、保存衛生、農業生産等の最先端技術が一堂に会し、多彩な展示が行われました。会場を訪れた来場者は出展社の説明に興味深く耳を傾け、フードテックに関心をもつ事業者間で新たな交流が生まれていました。



国内外の企業等20社による展示

多分野のキーパーソンによる講演・ディスカッション

日本料理アカデミー関係者や漁業者らによる、海の豊かさや持続可能な食について考えるメインディスカッションをはじめ、様々な企業・研究機関の第一人者による講演・ディスカッションが行われました。また、食料生産やSDGs、健康機能性、伝統的発酵技術などをテーマにしたセミナーは、来場者を大いに惹きつけていました。



日本食文化を未来につなぐパネルディスカッション

京都の食文化体験

料亭主人による和食の盛り付け実演や京菓子職人による造形の実演が行われ、調理の現場で活かされているフードテックの話とともに来場者を楽しませました。また、熟練の技による京料理と京菓子は、実演後に限定販売しました。



特設会場での和食の盛り付け実演

国内スタートアップピッチコンテスト

国内スタートアップ企業が自社の製品や技術をプレゼンし魅力を競うピッチコンテストが開催されました。最優秀賞と優秀賞に輝いた2社には、来年スペインで開催されるフードテックの展示会「FOOD 4 FUTURE」への渡航費用が補助されます。



国内スタートアップピッチコンテスト
新鋭10社が最先端技術をプレゼン

特集
4

京都耕畜連携システム構築事業で 飼料用米栽培実証を実施

京都府では、耕種農家と畜産農家が連携し、飼料作物と堆肥を循環させる耕畜連携システムを確立する取組を進めています。

今年度は、1回の施用ですむよう成分調整した鶏糞堆肥をペレット化し、これを施用した飼料用米の栽培実証を行いました。

ペレット化することにより、耕種農家においては、所有する既存の機械で臭気を抑えながら、省力的に散布を行えます。

また、畜産農家においては、堆肥の高付加価値化と高品質な飼料作物が入手できるというメリットがあります。

京都府では、府内農業にとって相乗効果のある取組となるよう、今後も耕畜連携を推進していきます。



窒素添加鶏糞堆肥ペレットを散布(令和5年5月)

農産課 京の米・豆・保険係 TEL: 075-414-4966
畜産課 畜産振興係 TEL: 075-414-4981

特集
5

「地域計画」策定に向けた取組を支援

農業の担い手の減少と高齢化が急速に進む中、令和5年4月に改正された農業経営基盤強化促進法の施行に伴い、令和7年3月までに市町村による「地域計画」の策定が義務付けられました。

「地域計画」は、これまで地域の農業者が守り発展させてきた地域の農業や農地を、将来に渡って誰が担っていくのかなどを、地域の話し合いを通じて決めていく計画です。

地域によって抱える課題や目指すべき農地利用の姿が様々である中、京都府としては、地域の垣根を超えた課題の共有や優良事例の紹介などにより、各地域に適した有益な計画となるよう伴走支援していきます。



地域の農業者などによる話し合いが本格始動
(写真提供: 京丹波町農業委員会)

経営支援・担い手育成課 地域営農推進係 TEL: 075-414-4908

特集
6

「京の小豆まつり」を初開催！



京都府産丹波大納言小豆は、粒が大きくて色つやが良く、独特の香りがある小豆で、全国的にもブランド力のある京都府の名産品のひとつです。

しかし、コロナ禍等の影響によって農産物需要が大きく減少し、小豆も一時的に大きな影響を受けました。このような中、京都府産丹波大納言小豆の美味しさ・魅力を広め、継続的な消費拡大につなげるため、和菓子屋等の製造・販売業者のネットワークを活かして、美味しい和菓子等を消費者に販売提供する「京の小豆まつり」を開催しました。

和菓子屋を巡るデジタルスタンプラリー

今回が初開催となる「京の小豆まつり」では、京都府産丹波大納言小豆を使った商品を販売している和菓子屋を巡るデジタルスタンプラリーを実施しました。

府内外13店舗の和菓子屋からイベントへ参加いただき、大福、最中などの定番の和菓子から、あんこを使ったジャムまで、多種多様な商品がラインナップされました。参加者からは、「小豆の奥深さを感じることができた」との声が聞かれました。

小豆の魅力発信イベント

さらに京都府産丹波大納言小豆を府民の皆さんに知っていただくため、JRA京都競馬場で行われるエリザベス女王杯に合わせて令和5年11月11日(土)、12日(日)に開催されたグルメイベント「おあがりやす京都2023」に、老舗和菓子屋の協力を得て出店し、小豆を使った和菓子を販売しました。

また、令和5年11月25日(土)、26日(日)には、京都パルスプラザで開催された「京都府農林水産フェスティバル」にも2店舗の協力を得て出店し、小豆を使った商品の販売やスタンプラリーの景品交換を行い、来場者に小豆の魅力を発信しました。

今後も、生産者・卸売業者・販売業者が一体となり、京都府産丹波大納言小豆の継続的な消費拡大を図ってまいります。



「おあがりやす京都2023」での出店



「農林水産フェスティバル」での出店

トピックス

「京都林業のつどい」(スマート林業・高性能林業機械展示・実演)を開催

木材生産の効率化・省力化及び林業労働安全の向上を図るため、ICT等の新技術の活用をテーマに、令和5年9月7日(木)に京都府立府民の森ひよしにて「京都林業のつどい」を開催しました。

府内外の林業事業者の方々をはじめ、林業大学校や北桑田高校の学生など190名を超える参加者があり、先進事例や最新技術を体感いただく機会となりました。

- 1 講演会：鳥取県日南町における循環型林業に向けた先進的な取組
- 2 展示実演会：遠隔操作型等ICT活用林業機械、ドローン、高精度測位システム、林内通信技術を活用した林業労働安全対策機器等(20社)



高性能林業機械の実演

林業振興課 林業経営強化係 TEL：075-414-5018

参加者過去最多!!「京都山キッズ交流会」を開催

令和5年9月18日(月・祝)、京都府立府民の森ひよしにて、次代の森林づくりを担う子どもたちの「京都山キッズ交流会」を開催しました。

当日は晴天に恵まれ、真夏のような暑さの中、府内各地から過去最多となる223名の参加者が、森林散策や種とばし、丸太切り体験、木製円盤投げを行いました。

参加者からは、「森で初めて鳥の巣を見た」「丸太切りが楽しかった」等の感想があり、自然と触れ合いながら参加者同士の交流を深め、森林から受ける恩恵を満喫していただきました。



参加者の集合写真



園内の森林を散策



丸太切り体験

森の保全推進課 モデルフォレスト推進係 TEL：075-414-5005

「大原里づくりトライアングル」が“農林水産大臣賞”を受賞

京都市左京区大原地域で、「農業」を核とした観光農村づくりを目指す「大原里づくりトライアングル」が、農林水産省・公益財団法人日本農林漁業振興会共催の「豊かなむらづくり全国表彰事業」において農林水産大臣賞を受賞されました。

この表彰事業は、農林漁業の振興を中心として、生活や文化等を含む幅広い地域活動を行う団体の中から、特に優良と認められる団体が表彰されるもので、地域住民が一体となって様々な分野の活動を行っていること、若手や女性の参画が進んでいること等が高く評価されました。



「里の駅大原」で地域の農作物や加工品を販売



地域の小中学校と連携した国蝶オオムラサキの保護活動

農村振興課 企画管理係 TEL：075-414-5042

トピックス

中央卸売市場に「食の京都」情報発信拠点が誕生

京都府では、京都市及び京都市中央卸売市場協会と共同で京都市中央卸売市場水産棟見学エリア内に、「食」を目的とした府内の周遊観光を促進する「食の京都」情報発信拠点を開設しました。

令和5年8月12日(土)、13日(日)にはオープン記念イベントを開催し、府内の加工食品を出張販売するとともに、来場者へ宇治茶のプレゼントや干物セット等が当たる抽選会を行うなど「食の京都」をPRしました。

イベント終了後も、府内産品をいつでも購入できる自動販売機を設置しており、今後も拠点の充実を図っていきます。



オープン記念イベントを開催

流通・ブランド戦略課 京もの販路開拓係 TEL：075-414-4941

農業体験で高校生に農業の魅力を伝える！～農と里を支える担い手育成事業の取組を紹介します～

京都府では、次世代を担う高校生や大学生に農業の魅力を実感してもらい、新規就農者の増加を目指す「農と里を支える担い手育成事業」を実施しています。

令和5年10月20日(金)には、北桑田高校美山分校の学生16名が南丹市日吉町の壬生菜農家を視察。学生たちは壬生菜のハウスを見学し、は種作業を体験する中で、試行錯誤を通じて野菜の出来栄が向上する農業の面白さに触れました。

学生からは、「職業としての農業に魅力を感じた」という感想が多く寄せられ、次世代の担い手育成に繋がることが期待されます。



壬生菜のは種作業を体験する北桑田高校美山分校の学生

経営支援・担い手育成課 新規就業・人材育成係 TEL：075-414-4912

川の魅力を府民に発信！内水面漁協が新たな取組を開始

釣りや川遊び、キャンプ、憩いの場の提供など、日頃から河川環境を守り、河川が持つ多面的機能の発揮に貢献している内水面漁業協同組合が、宿泊業者や飲食業者等と連携して、家族連れや初心者への釣り体験や、釣った魚を食べられるなどのサービスを提供する取組を新たに始めました。

組合員や遊漁者の減少等により事業運営の厳しさが増す内水面漁協にとって、遊漁の魅力発信による、遊漁者の増加が期待されます。各内水面漁協の今後の取組の拡大に注目です。

興味のある方は各漁協のHPよりご確認ください。

「京都府内の内水面漁協一覧」
はこちら



美山漁協で鮎つかみ取りを体験

水産課 漁政企画係 TEL：075-414-4992

トピックス

京都の木でつって、あそぼ！ 夏休み木工教室を開催

京都府が設置した「未来につなぐ京の木府民会議」は、府民の皆様と一緒に、府内産木材を積極的に使用していくための取組を行っています。

令和5年8月6日(日)、7日(月)には、次世代を担う子供達を対象に、京都の木に触れ、木材について楽しく学べる場として、イオンモール久御山で木工教室を開催しました。当日は、ミニイス及びペン立てづくりに、親子で約290名が参加し、大盛況となりました。参加者からは「木の手触りや香りを親子で感じる事ができてよかった」などの声もあり、木材の魅力を多くの府民の方にPRできました。



ミニイスづくり体験



ペン立てづくり体験

林業振興課 木材利用促進係 TEL : 075-414-5009

農業用ため池における遠隔監視システムの導入事例の紹介

京都府では、農業用ため池の管理強化の取組の一環として、京都府農業用ため池管理保全サポート協議会によるため池管理者からの相談対応のほか、遠隔監視システム等のICT技術の普及を進めています。

ため池への水位計や監視カメラの設置により、管理者は豪雨時の池の状態を現地へ行かなくても監視することができるほか、異常な水位上昇の際には管理者に警報メールが届くため、早期の避難行動につなげることができます。

本システムは国の補助金制度を活用しており、地元の負担なし(*)で設置ができます。令和4年度には、府内のため池13箇所にモデル的に導入しており、今後も取組を推進し、地域の安心・安全の向上を図っていきます。

※通信費等の維持管理費は、管理者等の負担となります。



ため池監視システム (豊池(舞鶴市))

農村振興課 防災減災係 TEL : 075-414-5053

大雨で山地災害が激化、治山ダムが効果を発揮！

近年、気候変動により、短時間に激しい大雨が発生する頻度が高まっています。

8月中旬の令和5年台風第7号では、局地的な大雨の影響で、京都府中丹地区等の小溪流に雨水が一気に流れ込み、樹木が土砂とともに流出するなど、宅地や農地で大きな被害が発生しました。

このため、京都府では直ちに補正予算を計上し、流木や土砂の流出を防ぐ治山施設等を迅速に設置するとともに、流出のおそれのある危険木の対策を行うなど、早期の被害復旧に向け、関係市町と連携して取組を進めています。



▲ 治山ダム完成時 (令和3年撮影)

治山ダムが山からの流木や土砂を留め、下流への流出をおさえる効果を発揮(令和5年8月)



森の保全推進課 森林土木係 TEL : 075-414-5028

シリーズ 農林水産技術センターの研究紹介

令和5年度に取り組んでいる研究をご紹介します

第18回 農林センター 丹後農業研究所、茶業研究所

研究1：お盆前から収穫できるナシの新品種を開発しています

丹後地域は明治時代から続くナシ産地であり、現在は、「京たんご梨」として京のブランド商品にも認定されている「ゴールド二十世紀」を中心に栽培されています。

これに加え、生産者の方々からは京都らしさをアピールでき、高値が期待できる新品種が求められており、お盆前に旬を迎え、夏の需要期に販売が期待できる「丹後2号」を選抜、育成しているところです。

今年度の試験栽培においては、異例の厳しい暑さの中でも、「ゴールド二十世紀」にも負けない大きさと、アザが少なくきれいな果皮に仕上がりました。また、高い糖度と控えめな酸味、シャリシャリ感といった特徴が生かされました。

今後、関係機関と協力し、果樹では京都初となる独自品種として、品種登録を目指します。



収穫直前の「丹後2号」の果実

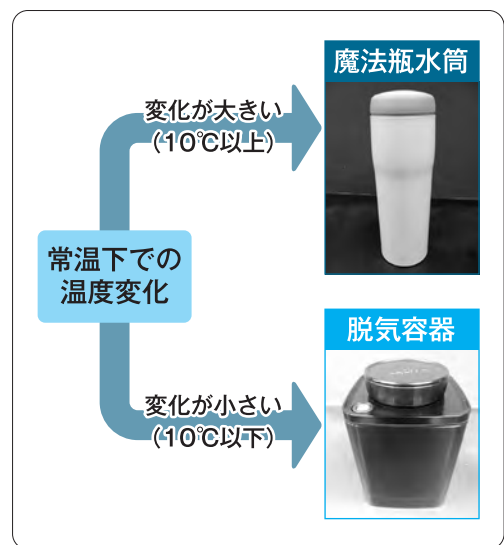
農林水産技術センター 農林センター 丹後農業研究所 TEL：0772-65-2401

研究2：常温保管でも長い間美味しく飲める茶葉の簡単・低コスト保管方法を解明しました

開封後の茶葉をどのように保管していますか。常温で保管する場合、条件によっては、短期間に風味を損なうことがあります。

最後の茶葉まで美味しく飲むためには、なるべく空気に触れないよう密閉して保管し、茶葉の劣化を防ぐことが大切です。

また、温度変化の違いによる最適な保管方法を検討したところ、温度変化が大きい(10℃以上)の場合は魔法瓶水筒で、温度変化が小さい(10℃以下)の場合は脱気容器で保管すると、茶缶よりも茶葉の酸化による変色や吸湿が抑えられ、品質が保持されることがわかりました。みなさんも温度に合わせて保管容器をうまく使い分けて美味しいお茶をより長く楽しんでください。



農林水産技術センター 農林センター 茶業研究所 TEL：0774-22-5577

地域の取組

山城

木津小学校での出前授業

～木津川と田んぼや農業との関わりについて学習～

山城広域振興局では、木津川市立木津小学校の6年生を対象に、『木津川と田んぼや農業との関わり』について出前授業を実施しました。小学生は木津川からの農業用水の取水方法や必要性、農業用施設の仕組みや管理方法について、座学及び現地見学（木津揚水機場、文廻池ぶんまわりいけなど）にて学習しました。

小学生からは「木津川の水が農業に使われているなんて知らなかった」や「たくさんの方が関わって水が送られていることがわかった」という声がありました。

今後も、子どもたちが自分たちの住む地域について新たな発見をしたり、地域を見つめなおしたりすることで、地域への愛着を持つきっかけづくりをしていきます。



振興局による
出前授業



農業用施設
(文廻池)の
見学・学習

山城広域振興局 農林商工部 地域づくり振興課 TEL：0774-21-2186

南丹

大保池（農業用ため池）の改修が完了しました

大保池たいほいけは南丹市日吉町胡麻地区に位置し、農地約11haを潤す重要な農業用ため池です。しかし、築造から80年以上が経過し老朽化が進み、地震時の安定性等も不足している状況であったため、大規模地震発生時には堤体が崩壊し、下流の農地、民家等へ被害を及ぼすおそれがありました。

そのため、平成30年度から府営農村地域防災減災事業を実施し、水を貯留する堤体、池内から水を下流へ流す取水施設、池内の余剰水を流し急な水位上昇を防止する洪水吐の改修を行い、令和4年度に工事が完了しました。

改修の結果、ため池の耐震性及び豪雨耐性が強化されるとともに、農業用水の確保によって、農業経営の安定と、地域の安心安全の向上に寄与することができました。



改修後の大保池

南丹広域振興局 農林商工部 地域づくり振興課 TEL：0771-22-0286

南丹・中丹

丹波くり振興に新たな人材！

「丹波くりマイスター養成講座」修了生が各地で活躍！

丹波くり振興をリードする新たな人材を養成するため、南丹・中丹両広域振興局及び森林技術センターが連携し、令和2年度から4年度までの3年間、「丹波くりマイスター養成講座」に取り組んできました。

修了生は18名を数え、地域の模範となる丹波くり栽培を実践するとともに、既に複数の修了生が、講習会での講師や生産者団体の役員を務めています。また、害虫の発生や落果の時期、豊凶などの予察を目指し、両局の事業で行う定点観測業務を担うなど、丹波くり振興の要として、積極的に活動されており、今後の更なる活躍が期待されます。



修了生が講習会で講師として活躍

南丹広域振興局 農林商工部 森づくり振興課 TEL：0771-22-1017
 中丹広域振興局 農林商工部 森づくり振興課 TEL：0773-62-2586

南丹・中丹

「第7回森の京都ジビエフェア」開催中

令和5年11月18日(土)から令和6年2月18日(日)まで、南丹・中丹両広域振興局、森の京都DMOの共催で「第7回森の京都ジビエフェア」を開催しています。

南丹エリア、中丹エリア、京都市右京区京北の計43店舗が「森の恵み」のシカ肉を使った美味しいオリジナルメニューを提供しています。また、ジビエフェアのアンケートに回答していただいた方を対象に抽選でジビエ商品をプレゼントします。ぜひこの機会に京都のジビエをお楽しみください。



詳しくはこちら



提供メニュー例：丹波もみじフルコース



提供メニュー例：鹿肉のロースト丼

南丹広域振興局 地域連携・振興部 企画・連携推進課 TEL：0771-24-8430
 中丹広域振興局 農林商工部 農商工連携・推進課 TEL：0773-62-2593
 一般社団法人森の京都地域振興社（森の京都DMO） TEL：0771-22-9800

丹後

森林の適正な維持管理セミナー等を開催

森林所有者の高齢化や木材価格の低迷により、適正な管理が行われていない森林が増加する中、相続等により境界や所有者が不明になるなど、森林を管理する状況がますます厳しくなると考えられます。

このため、森林を適正に管理するための知識や技術を習得した人材の確保・育成及び適正に管理できる体制の強化を目指し、セミナーを開催しました。

また、振興局では、林業・木材研修会や木工教室等の取組により、木材利用の気運醸成や木材利用を推進する人材の育成も並行して進めて参ります。



森林の適正な維持管理セミナーを開催



木工教室を開催

丹後広域振興局 農林商工部 森づくり振興課 TEL：0772-62-4306

丹後

果樹の新たな担い手を育成

明治時代から続く府内屈指のフルーツ産地・京丹後市では、ナシやモモ、ブドウ等を生産しており、関係機関で構成される「京丹後市果樹振興協議会」を中心に、産地の次世代継承に向けた様々な取組を行っています。

高齢農家の引退に伴って想定される空き園地への対応について、若い担い手と話し合いを重ねて対策を協議しました。その結果、「産地全体で早急に新規就農者を育成していくことが必要」との共通認識を得て、令和5年9月より都市部からの移住者1名への果樹経営の研修を開始しました。

今後、新たな担い手の定着に向けて支援するとともに、次年度以降も継続して就農者を受け入れる計画を進めています。協議会の活動にご期待ください。



先輩果樹経営者から研修を受ける新たな担い手

丹後広域振興局 農林商工部 農商工連携・推進課 TEL：0772-62-4305

シリーズ 学び舎へようこそ！ ～初の試み! 京都の海を舞台に漁業インターンシップを開催～

府内の漁業就業者を増やすため、漁業に興味のある方々に京都の漁業現場を体験いただく短期インターンシップを初めて開催しました。

新聞、ホームページやSNSで参加募集を行ったところ、府内外から21名の応募があり、その中から受入機関との調整により、高校生から社会人まで計7名の方に参加いただきました。

令和5年8月22日(火)から3泊4日の日程で、初日は陸上養殖の講義に始まり、京都府が漁業団体及び沿岸市町と協働して運営する漁業者育成校「海の民学舎」の制度説明と海の民学舎OBや漁業者との交流を図りました。

2日目から最終日までは、朝4時前に起床し、宮津市内、京丹後市内及び舞鶴市内の定置網漁船に乗り、網揚げや魚の選別作業などを行いました。

定置網漁から帰ってきた後は、先輩漁業者との座談会に参加して漁業者になるための心構えや漁業協同組合で漁獲物の流通などを学びました。

釣りが好きだったり、自然と関わる仕事がしたいなど熱い想いで参加された皆さんは、今回のインターンシップを経て、就業への思いがより強くなったようです。

近い将来、彼らが獲った魚を食べられる日が来るのが楽しみです。



海の民学舎OBや漁業者との交流



大型定置網漁船に乗船・作業体験

インターンシップに参加された方の声

資源管理のために漁網を改良するのも漁師の仕事だと知り、漁業に対する考え方が変わった



10代・高校生



10代・高校生

より長期間のインターンシップがあれば嬉しい



岩がきの水揚げ

水産課 漁業漁村係 TEL: 075-414-4994

きょうと 食の安心・安全フォーラム

令和6年2月9日(金) 13:30~15:30 (受付13:00~)

◆会場: 京都府立京都学・歴史館 小ホール (京都市左京区下鴨半木町1-29) ◆定員 会場:50名 オンライン:100名

◆参加無料 ◆オンライン: Zoomウェビナー

参加事業者

京都府生菓子協同組合

京丹波 食の安心・安全フォーラム

清水農園 代表 清水 大介 氏

参加者アンケート回答者へのプレゼント企画!

- 会場参加者(全員) ◆和生菓子の詰め合わせと鶏卵6個パック
- オンライン参加者 ◆抽選で5名様にお米5kgとさつま芋のセット

※写真はイメージです

食の安心・安全フォーラム

令和6年度 農夫・林夫の学生募集 願書受付期間

農業大学校 一般入試(後期)

令和6年1月19日(金)~1月31日(水)

【お問い合わせ】

0773-48-0321

林業大学校 一般入試(第3回)

令和6年1月17日(水)~1月31日(水)

【お問い合わせ】

0771-84-2401

※既に定員を満たしている場合は実施しない場合がありますので、実施の有無については、1月9日以降本校ホームページで御確認ください。

京都府の農業や林業の担い手を目指す方の応募をお待ちしています。

発行/令和5年12月

編集/京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町 京都府農林水産部農政課 TEL: 075-414-4898 E-mail: nosei@pref.kyoto.lg.jp

京都府人権啓発イメージソング「世界がひとつの家族のように」は、「お互い支え合うことの大切さ」をイメージした歌です。

歌い広め、「いま、わたしたちにできること」を考えてみませんか。

公式ホームページ <https://kyoto.jinken.net/imagesong/>